



Go West!

佐賀県立唐津西高等学校

学校だより NO.8 R4.08.01

【建学の精神】朝（あした）に希望 タベに感謝

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp

一人一人の『ゲルニカ』に向けて — “青の時代” をどう生きるか —

天才画家と知られるピカソ。

しかし、よく言われるのが「何がすごいのか分からない…」。

「私にも描ける」という意見は極論にしても、ひと目見ただけではむちゃくちゃで何がどう評価されているのか、素人には分かりにくいかもしれない。(右図参照『泣く女』)

しかし、『15歳のデッサン』を見てほしい。



『15歳のデッサン』
MUSEY編集部 <https://www.musey.net/483/484>

ピカソのデッサン力、構図力はともに当時から驚異的な技巧であり、コンクールの審査員を唖らせつつも、年齢詐称の疑惑までかけられたことすらあったそうだ。

私たちは『ゲルニカ』や『泣く女』など、いわゆる「どこがすごいかわからない」とされるピカソの絵画に触れることが多いが、このような素人目にも「ちゃんとした絵」として映る写実的な絵画もピカソは描いている。つまり、基礎がしっかりした上で応用を利かせている。これがピカソのすごさである。



『泣く女』
MUSEY編集部 <https://www.musey.net/54/55>

先月、ポーラ美術館（神奈川県）は、ピカソが20歳の頃に描いた『海辺の母子像』の下層部に別の絵が折り重なっていることを指摘した。この絵は20代前半の“青の時代”の作品。

この時期、彼は透き通るような青色を基調とした一群の作品を残している。『盲人の食事』『アイロンをかける少女』など、若いピカソは乞食や浮浪者、旅芸人など、執拗なまでに社会の底辺で生きる人々を描いている。きっと、それらの人々の生きる苦悩や悲しみを自らの心の深いところで受け止め、人間の実相を捉えようとしたのだと思う。

後年の大傑作『ゲルニカ』も若い時期のこのような経験なしには完成しえなかったと思われる。他者の痛みを自分の痛みとして感じることができる“共感”の能力こそが彼の絵を根底で支える力となっているのだろう。

西高生のみんなが将来どんな『ゲルニカ』を描くことができるか。それは一人一人が“青の時代”に何をつかみ、何を養うかにかかっている。

現実を直視する鋭い観察力、それを弁証法的に捉え直そうとする批判的精神、そしてその奥底に潜む問題点を見抜く洞察力、そういう力の種をこの時期に植え付けてほしい。

一つの夏が終わるとき — 洗練された統一感に思う —

吹奏楽コンクールを観た。出張中であつたがどうしても気になって仕事を中座して会場に

駆け付けた。本校吹奏楽部を含めて4校ほどのバンドの演奏が聴けた。

本校は小人数ではあったがその一体感のある演奏と所作に西高の品格を感じた。



令和3年度定期演奏会の様子

横道にそれるが、西高の制服は“品がいい”との評判を聞いた。清楚で凛としていて今風に言えば「シュッと」している。全然“ダサく”なんかない。

閑話休題。部員たちの演奏を聴きながら、何がこんな感動を呼ぶのか考えてみた。

一人一人のまなざしや体の動き、演奏する音色が緊張感を伴って伝わってくる。ここまでくるのに何度も何度も練習を重ね、やり直しを繰り返したであろう苦労を想像する。

“力を合わせる”ことはどの団体競技・分野でも必要なことだ。野球だってバレーだって、団体戦はチームワークが大切だ。

しかし、吹奏楽のそれは、野球などとは違う。それはボートや弓道を見た時の印象に似ている。一糸乱れぬ動き。シンクロする残像、無駄を極限までそぎ落とした所作、統一感。指揮者の振るタクトという一点に集中する気迫。

結果は銅賞。部員たちは満足していないようだったが、結果はどうでもいい。要はそれを続けてきたこと自体が尊いし、仲間との協働は今後人生の糧となるはずだ。

こうしてそれぞれの夏が一つずつ終わっていく。そのたびに一つずつ人生のステージが上がっていくことを期待している。

西高ボランティアここでも Enjoy～！ ーかもめ楽団・からつ応援市場ー

地域課題に応え、地域に貢献する。西高ボランティア精神の発揮の場として位置付けた西九州新幹線「かもめ」ウェルカムイベント&からつ応援市場。

当日は特課返上でたくさんの西高生がこのイベントを支えてくれた。特に今回は、企画段階から参画し、準備、運営、後片付けまで、一連の過程に関わった。まさに一とおりに起業家活動を体験したわけだ。

特筆すべきことは、一般の方や他校吹奏楽部と協働しての“Happy Birthday”の演奏。



これは秋以降に YouTube などでも放映されると聞いている。

その時に、この日の感動を再び思い起こし、地域振興に関われる喜びを確かめたいものだ。

暑い中、皆さん、お疲れ様でした！



【8月前半の主な行事】

- 8月 1日(月)スタディサポート(1・2年)／特課(3年)
- 2日(火)体験入学
- 3日(水)3年学習会(5日まで)
- 6日(土)学校閉庁日(16日まで)
- 18日(木)夏季特課再開